

一 般 質 問 一 覧 表

平成25年第2回高梁市議会（定例）

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
1	5	8番 森 田 仲 一	<p>1 地域おこし協力隊について</p> <p>(1) 高梁市で活躍いただいている協力隊員は、本年募集中の1名を加え4名となっているが、今後増員予定はあるのか</p> <p>(2) 地域協力活動の期間は、概ね1年以上3年未満となっているが、隊員の希望があれば継続は可能か</p> <p>(3) 総務省が掲げている協力隊員の活動は、条件不利地域での地域おこし活動の支援や農林漁業の応援、住民の生活支援などを行い、最終的には定住、定着を図り地域の活性化に貢献してもらいたいとなっているが、市として協力隊員への定住、定着へ向けての支援策はどうか</p> <p>2 木質エネルギーについて</p> <p>(1) 近年、中山間地、特に農村地域周辺の山林の手入れができず荒れ放題となっている。隣接の農地は獣害のため耕作放棄地となり、周辺優良農地に悪影響が出ている。雑木、間伐材を燃料にする木質バイオマス事業を推進することにより、公募による里山（天然林）整備並びに里山整備促進事業を促進し、農村地域周辺の住環境整備が進むものと考えるが里山林整備の進捗状況はどうか</p> <p>(2) 岡山県においては、新エネルギービジョンを定める中で、木質バイオマスの利用拡大に向けて事業推進しているが、県下で実用化しているのは真庭市のみとなっている。高梁市として里山林整備とあわせ新エネルギーとしての木質バイオマス事業を推進するべきと考えるがどうか</p> <p>(3) 里山林整備等で発生する木材を活用して、身体障害者の就労支援を進めてはどうか</p>
2	11	9番 大 森 一 生	<p>1 2040年の岡山県内人口推計（国立社会保障・人口問題研究所）に見る高梁市の人口推計について</p> <p>(1) 岡山県内全27市町村の中で、高梁市が最も減少率が高くなっている。この推計結果についてどのように思われているのか。また、その大きな要因は何かを聞く</p> <p>(2) 人口はその町の経済力と比例する。人口減少、定住化対策、産業振興策など一層の対策、強化が必要なのではないか</p> <p>(3) 人口減少、変動に対する「包括的な対策」の必要性について</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
2	11	9番 大 森 一 生	<p>① 外国人住民、留学生との共生における地域の課題と現状について聞く</p> <p>② 「人的多様性配慮型社会」(＝ダイバーシティ)の必要性について聞く</p> <p>2 JR伯備線各駅、インターチェンジなどの主要交通インフラを生かしたまちづくりについて</p> <p>(1) 高梁市内にはJR伯備線の備中高梁駅、備中広瀬駅、木野山駅、備中川面駅、方谷駅の5駅があるが、これらの駅を生かしたまちづくりについて聞く</p> <p>(2) それぞれの地域の地理的特性、インフラを生かしたストーリー的戦略の構築を一層進めるべきではないか</p>
3	13	19番 難 波 英 夫	<p>1 高梁市非核平和都市宣言に基づく市政について</p> <p>(1) 地域と世界の平和を目指して「核兵器廃絶」、「憲法9条を守る」という立場を引き続き堅持すること</p> <p>(2) 核兵器廃絶を訴える「平和市長会議」へ加盟し、全国の市長と連携して平和貢献をするよう求める</p> <p>(3) 本市の各町内会へ回覧による核兵器廃絶の署名要請を求める</p> <p>2 「ゆ・ら・ら」跡地の活用について</p> <p>(1) 「完全民営化」もしくは廃止によって、多額の市費を投入し続けられない活用を求める</p> <p>(2) サッカースタジアム建設についての見解を問う</p> <p>① 吉備国際大学側の考え方はどうなのか</p> <p>② 基本的に民間施設とする構想はないのか</p> <p>3 農業経営を圧迫している円安被害対策について</p> <p>(1) 円安による燃料、飼料の値上がりで経営が圧迫されていると思うが本市の実態はどうか</p> <p>(2) 市として廃業、廃作にならない支援対策をするべきではないか</p> <p>4 本市総合計画において、農産物の加工、ブランド化を農協や企業と連携して推進するとあるが具体的内容を問う</p> <p>5 学力向上を図る教育について</p> <p>(1) 全国学力テストをどのように位置づけられているか</p> <p>(2) テスト中心の競争教育は、子どもの創造性や思考力を歪め、全体の学力向上につながっていないのではないか</p> <p>(3) 土曜日授業を始めた学校が出ているがどのように考えられるか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
3	13	19番 難波英夫	<p>(4) 競争主義、管理主義にメスを入れ、「教員評価」等による統制をやめ、教職員、子ども、学校の自主性を尊重して、教え、学ぶ、喜びが実感できる学校づくりを進めるべきではないか</p> <p>(5) 全ての学校へ校務員配置をすべきではないか</p>
4	4	4番 黒川康司	<p>1 市の公共財産について</p> <p>(1) 行政財産と普通財産があるが、現在遊休化した行政財産のうち、箱物はどれくらいあるのか</p> <p>(2) 今後、遊休化した箱物の取り扱いについてはどういう考え方をもっているのか</p> <p>2 市道の維持管理について</p> <p>(1) 予算を見る限りでは修繕工事費が少ないのではないか</p> <p>3 成羽病院について</p> <p>(1) 成羽病院の施設は新しく完成したところである。ソフト面については、病院の質を高めるため改善の努力をされていると思うが、具体的にどういう取り組みを行っているのか</p> <p>(2) 成羽病院の診療科目については、高齢化が進むこの地域に必要とされる科目を考えていくべきではないのか</p> <p>(3) 附属診療所からの訪問診療を積極的に行うべきではないか</p>
5	7	7番 宮田好夫	<p>1 国保加入者の短期人間ドックの定員について</p> <p>(1) 平成25年5月23日から受付が始まったが、5月28日に定員550名に達して締め切りとなった。希望者全員が受けられるよう改善できないか</p> <p>2 高梁市健康増進施設朝霧温泉「ゆ・ら・ら」の活用について</p> <p>(1) 利活用について調査検討委員会から提言が出されたが、今後どのように具体案を検討していくのか</p> <p>① 現段階で市はどのような活用策を考えているのか</p> <p>② 具体案を検討する組織はどのような構成になるのか</p> <p>③ 検討していく中で、議会への情報提供はどう考えているのか</p> <p>3 音声による告知放送の再検討はできないか</p> <p>(1) 有漢、川上、備中地域に設置されている防災行政無線は老朽化が進んでいる。災害時における音声による告知放送は有効性が高いと言われている。ケーブルテレビ網を活用した整備を再検討する考えはないか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
6	10	1 番 石 井 聡 美	<p>1 土地の相続対策について</p> <p>(1) 相続によって土地や建物の所有権の所在がわかりにくくなり、土地利用の障害になる問題が全国的に起こりつつある。高梁市でも事例はあるか</p> <p>(2) 現在、この問題について対策を考えているか</p> <p>(3) 市役所が寄付を受け付けたり、相続に関する相談にかかる費用を負担するなど、土地の権利をなるべく高梁市内にとどめる努力をすべきではないか</p> <p>2 図書館建設について</p> <p>(1) 今後、なくなってしまうかもしれない限界集落で保持されている記録や資料、市役所の建てかえに際して出てくる古い書類なども、後の世代にとっては高梁市の重要な記録である。そういったものを整理、保存するための機能を図書館に持たせてはどうか</p> <p>(2) 建設ありきではなく、長期的な運営を考えた上での計画立案がされているのか</p> <p>3 市内観光について</p> <p>(1) 観光シーズンには市街地の駐車場が大幅に不足している。駐車場不足は重大な機会損失につながる問題だと思うが、今後大型の観光駐車場を建設する予定はあるか。市の見解を問う</p> <p>(2) 最近、外国人の観光客を見かけることが多くなっている。英語のメニューや、英語のパンフレットなど外国人観光客へのサポートを推進すべきではないか</p> <p>4 市役所のICT化について</p> <p>(1) 来年でWindows XPの公式サポートが終了し、XPで動いているパソコンはウィルス感染の危険度が高くなる。高梁市の現在のシステム稼動状況と今後の更新予定はどうなっているのか</p> <p>(2) 市役所ホームページから各種申請書類をダウンロードできるが、拡充してはどうか</p>
7	2	6 番 内 田 大 治	<p>1 教育行政について</p> <p>(1) 川上中学校改築については、3月定例会において今後地域、保護者と協議を行い方向性を出していくとのことであったが、現状を問う</p> <p>(2) 市教委は本市における県学力テストの成績について、どのように認識をしているのか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
7	2	6 番 内 田 大 治	<p>(3) 県内の市町村では、独自に学力テストを導入する動きがあるが、市教委はどのように認識をしているのか</p> <p>(4) 今後、学習定着度を把握するために学力テスト（業者テスト）を導入すべきではないか</p> <p>2 人口減少に伴う市政運営について</p> <p>(1) 地域別将来推計人口が発表された。それによると本市の人口は 2040 年に 20,234 人、減少率 57.9%で県下最大の減少率となる。市はこの発表をどのように認識しているか</p> <p>(2) 純移動率によると、進学や就職により若者が流出している状況である。早急な対策に取り組むべきではないか</p> <p>(3) さらに定住対策、子育て支援が必要ではないか</p> <p>(4) 人口減少に伴い、将来への負担を少なくするための行財政運営に取り組む必要があるのではないか</p> <p>3 スマートコミュニティについて</p> <p>(1) スマートコミュニティ（環境配慮型都市）事業化について、市の取り組みの現状を問う</p>
8	1	16 番 川 上 博 司	<p>1 高齢者介護サービスの充実について</p> <p>(1) 在宅介護の担い手が「嫁」ではなく「息子・娘」の時代に入っていく中で、介護保険制度の円滑な運営とサービスの質の向上についてどのように取り組んでいくのか</p> <p>(2) 医療と介護の連携による在宅サービスの充実について、どのような取り組みを考えられているのか</p> <p>(3) 地域包括ケア体制の整備で、その拠点となる地域包括支援センターの拡充、強化についてどのような体制で取り組んでいくのか</p> <p>2 ICT（情報通信技術）の取り組みについて</p> <p>(1) 「Windows XP」サポート期限終了に伴い、庁舎内のパソコンはどのような対策をしていくのか</p> <p>(2) 災害時の行政事務の根幹をなす行政システムの事業継続のために、どのような対策がなされているのか</p> <p>(3) 「マイナンバー制度」によって、本市の行政システムにどのような影響があるのか。またその導入、維持に要する費用については、どのように考えられているのか</p> <p>3 障がい者対策について</p> <p>(1) 人工内耳の聴覚障がい者の経済的負担を軽減するため、空気電池に対する助成を行うべきではないか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
9	8	5 番 三 村 靖 行	<p>1 定住対策について</p> <p>(1) 定住対策を進めているが、その内容と実績は</p> <p>(2) 分譲宅地を格安で提供することができないか</p> <p>(3) 高速道路を使った遠距離通勤に補助はできないか</p> <p>2 市道名の一部変更について</p> <p>(1) 市道名をゆかりのある人物名にしてはどうか</p>
10	6	10 番 長 江 和 幸	<p>1 人事について</p> <p>(1) 市職員が勸奨退職後、市と関係の深い団体に再就職しているが市が斡旋しているのか</p> <p>(2) 外部人材を任期付きで登用する市長直轄の政策監の人事は一般論では元市職員ではないかといった声があるが市長の考えを問う</p> <p>2 財源確保について</p> <p>(1) 旧吹屋小学校の公開は、入場料を徴収するべきと思うが市の考えを問う</p> <p>(2) 電気自動車の充電代金の徴収については、平成 24 年 6 月議会で県と協議すると部長が答弁されているが、その後どのようなになっているのか。協議の内容とあわせて問う</p> <p>3 ゴミの収集について</p> <p>(1) ゴミステーションへ持って行くことが容易でない市民（特に高齢者）については、戸別収集してはと思うが市の考えを問う</p> <p>4 教育行政について</p> <p>(1) 市長は、教育環境の整備の 1 つに常勤講師を配置する独自の学級編成を行うと言われているが、優秀な人材確保はできているか</p> <p>(2) 当市は県内で中学 1 年生学力テストでワースト 3 である。試験の結果をどのように検証されているのか</p> <p>(3) 児童、生徒の学習定着度把握目的に 15 市町が独自テストを実施予定と報道されているが、当市が入っていない。市はどう対応する考えなのか</p> <p>(4) 経済格差が教育格差、地域間格差が教育格差、このことは否定できないと思う。その観点から、平成 22 年 12 月定例会で行政放送を活用して教育講座を企画、開設してはと提言した。学習塾の補完的な企画は少し難しい部分もあるが、前向きに研究すると答弁をされているが、その後の経過を問う</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
10	6	10 番 長 江 和 幸	<p>(5) 土曜日授業を実施される予定はあるのか</p> <p>(6) 放課後授業はスクールバスの運行時間が課題となるが、どのように対応するのか</p> <p>(7) 高梁市教育振興会はどういう目的で設立されているのか</p>
11	9	15 番 宮 田 公 人	<p>1 人口減少とこれからの市政運営のあり方について</p> <p>(1) 3月27日に国立社会保障・人口問題研究所から「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）」が発表された。これによると高梁市の人口減少は岡山県下で最も高く2040年推計では2010年の人口から14,729人減の20,234人となっている。この状況をどう分析しているのか</p> <p>(2) 高梁市総合計画は目標人口を33,000人として策定されているが、今後の人口減少を考えると、この計画の推進が将来的な市民負担の増加につながる恐れがあるのではないかと考える。人口動態を踏まえた計画の洗い直しや優先順位づけと、大型事業については将来負担との関係性において市民理解を得るための細やかな説明が必要ではないか</p> <p>(3) 人口減少と流出に歯止めをかけるための対策と、それを実現するための市民との協働が必要と考えるが、行政のトップとしてどのようなメッセージを発信するのか</p> <p>2 読書教育の推進について</p> <p>(1) 松原学園では読書推進教育の一環として、「おやこでよんでみよう！」という冊子を作成し、読み聞かせを通した子どもたちへの読書習慣の定着と親子のふれあいを実践している。こうした幼年期読書教育の推進は、子どもたちの成長と円滑な親子関係の醸成にとって有効な取り組みであると考ええる。こうした観点から、教育委員会が主体となって全市的に読書教育を推進すべきではないか</p> <p>3 市立図書館のあり方について</p> <p>(1) 平成25年度の人事において、図書館長が兼務となった。本来、新しい図書館の構想策定や建設にあたっては、建設準備室など専属のセクションの設置と人員配置を行うべきと考えるが、そうした対策が取られていない。また、外部アドバイザーとしての専門家も招聘していない。今後の事業推進において、責任者を明確にし専門の部署を設けるべきではないか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
1 1	9	15 番 宮 田 公 人	<p>(2) 3月議会で図書館設計にかかる予算は可決されたが、現状でそれを担保するだけの情報提供がない。基本構想を縦軸、建設予定用地を横軸として、それぞれのメリットとデメリットを明確にし情報整理をすべきではないか</p> <p>(3) 何を建てるかでなく、何のために、どのような図書館を建てるのかというコンセプトを明確にするためにも、図書館司書、図書館ボランティア、教育関係者など図書行政に直接的にかかわる関係者からの意見聴取を改めて行うべきではないか。また、JR、備北バスや地元経済団体など物理的な影響を受ける当事者の考えも聴取すべきではないか</p> <p>4 駅前周辺整備について</p> <p>(1) 駅周辺の施設はそれぞれが独立単体で機能しているわけではなく相互が関連している。しかし、その整備にかかわるランドデザインやタイムスケジュールが示されていない。備中高梁駅バリアフリー化と駅前広場整備、都市街路整備に関わる駅東口ロータリー化、観光案内所や公衆トイレと駅前交番、また隣接する商店や事業所、備北バスターミナルと図書館整備のあり方など、駅周辺を構成する要素と今後の整備方針について再度情報整理を行い議論すべきではないか</p>
1 2	1 2	2 番 石 部 誠	<p>1 合併10年を迎えるが、市民の現在の暮らしぶりや、今後について問う</p> <p>(1) 合併後の市民生活はどのように変わったと認識しているか</p> <p>(2) 大型公共事業が連続して行われ、それも高梁市の中心部に集中しているとの意見があるが、どのように思われるか</p> <p>(3) 合併10周年事業の計画はあるのか。また、市民の声をよく聞くため、市長自らが出向き、市民が自由に参加できる懇談会を計画したらどうか。また、全世帯を対象とした市民アンケートを計画したらどうか</p> <p>2 水道料金の引き下げを求める</p> <p>(1) 現在市民が負担している水道料金は地域等で差があるが、本来水道料金など基本的な市民生活にかかわるものについて、市民負担は均等であるべきと考えるがいかがか</p> <p>(2) この差をなくすことはできないか</p> <p>(3) 水道料金を全体として引き下げることはいか</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
12	12	2 番 石 部 誠	<p>3 図書館建設の再考を求める</p> <p>(1) 図書館建設については急いで行うべきではないとの意見があるがどのように考えるか</p> <p>(2) 場所についての再考ということで、高梁バスセンターと文化センター駐車場と二者択一方式のアンケートが行われたが、それぞれの長所、短所の内容が分からないアンケートがなぜ行われたのか</p> <p>(3) 場所を選ぶということは、図書館機能のあり方や将来の方向性を考えて選ぶもので、市民の意見を聞くために時間をかけるべきだと思いがいかか</p>
13	3	12 番 倉 野 嗣 雄	<p>1 安心・安全の町づくりについて</p> <p>(1) 消火栓と器具の管理について問う</p> <p>2 地域振興について</p> <p>(1) 地域づくり推進事務費として、平成 25 年度当初予算では 701 町内会へ 1,722 万 5,000 円が計上されているが、単純に平均すると 1 町内会あたり 24,600 円となる。これで町内会が維持できるのか問う</p> <p>3 空き家対策について</p> <p>(1) 市内の空き家活用の現状と問題点は何か</p> <p>(2) 空き家にされている方の墓地と仏壇の管理を公営でできるのか問う</p>